

溶接学会若手会員の会 第 63 回運営委員会開催報告

副委員長 鴫田 駿 (東北大学)・鳥形 啓輔 (株式会社 I H I)

Report of the 63rd meeting of WELNET steering committee

by TOKITA Shun and TORIGATA Keisuke

【概要】

溶接学会若手会員の会 運営委員会は、全国大会期間中に開催されるのが通常であるが、秋季大会が Web 開催（オンデマンド配信）となったため、本運営委員会は Web 会議にて別日に開催された。

日時：2020 年 9 月 29 日（火）10:00～12:15

場所：－

資料：

welnet 63-0	議案
welnet 63-1	第 62 回運営委員会議事録（案）
welnet 63-2	2020 年度上期活動報告・下期活動計画
welnet 63-3	会計報告
welnet 63-4	全国大会関係
welnet 63-5	編集関係
welnet 63-6	広報・ML 関係
welnet 63-8	勉強会関係
welnet 63-9	出前講義関係
welnet 63-10	グローバルネットワーク活動関係

【審議・報告事項】

議事に先立ち、荻野前委員長より挨拶をいただいた。その後、若手会員の会 運営委員会の新メンバーより自己紹介をいただいた。

1. 第 62 回溶接学会若手会員の会 運営委員会議事録の確認・承認

庄司委員長より、welnet 63-1 に基づき第 62 回溶接学会若手会員の会 運営委員会議事録の報告がなされた。本議事録はその後の決議により承認された（運営委員数：36 名に対し、承認：20 名、委任：12 名、無回答：2 名）。

2. 2020 年度上期活動報告・2020 年度下期活動計画

庄司委員長より、welnet 63-2 に基づき 2020 年度上期活動報告・2020 年度下期活動計画の報告がなされた。

2020 年度上期は第 62 回運営委員会をメール開催にて行ったほか、第 1 回 Web 勉強会を Cisco Webex Meetings を用いて行った。また、オンデマンド開催された秋季全国大会におけるポスターセッションを実施した。

2020 年度下期は第 2 回 Web 勉強会の開催を計画している。また、溶接学会 企画委員会から若手会員の会に対し、学会のアウトリーチ活動への若手会員の会の参加が提案されていることが紹介された。その後の議論では、アウトリーチ活動として YouTube を用いたバーチャルラボツアー（ラボ紹介）、溶接トーチ・リレー（若手会員による研究内容の紹介）などが出席委員より提案された。どのような活動を行うかは未定であり、今後議論を行うこととなった。

3. 会計報告

会計担当の山下委員より、welnet 63-3 に基づき若手会員の会一般会計、グローバルネットワーク活動（以下、GN と記す）会計について 2020 年度予算および上期会計報告が行われた。

2020 年度上期は、一般では約 40 万円の収入があり、約 14,000 円の支出であった。Web 勉強会のための Cisco Webex meeting アカウント使用料以外の支出はなかった。

4. 全国大会関係

松田委員より、welnet 63-4 に基づき全国大会イベントについての報告がなされた。2020 年度春季全国大会におけるイブニングフォーラムは全国大会の中止に伴い中止となった。秋季全国大会において実施されたオンデマンドによるポスターセッションの実施報告ならびにアンケート結果の

報告が行われた。

2021年度春季全国大会がオンライン開催となった場合に備え、イブニングフォーラムのオンライン実施案が提案されたほか、使用される可能性のある会議システムの一例として Remo Conference が紹介された。PC 画面での表示に合わせたポスターテンプレートの作成など、オンライン開催に適応した開催方式が必要となることについて議論が行われた。

5. 編集関係

笠野委員より、welnet 63-5 に基づき溶接学会誌における若手会員の会担当ページの状況について報告がなされた。スポットライト（溶接タマゴ・私の溶接履歴）、じょうほう通についての実績と今後の計画が紹介され、引き続き溶接タマゴや溶接履歴の執筆者の推薦にご協力いただけるよう呼びかけがあった。

また、若手の会で担当する溶接学会誌 90 巻 4 号特集記事についての企画案が紹介された。若手ならではの特集記事とするため、「次世代に “つなぐ” 溶接・接合研究への想い」と題して、研究内容や研究に対する考え方・思い、自身の研究が拓く未来の姿などについてインタビュー形式で執筆いただく予定で、執筆者へも内諾済みであることが報告された。

その他、普段溶接学会誌を読む機会の少ない次世代の若手や一般の読者に対してアピールするための方策や、他学協会とのコラボの可能性などについて積極的な議論が行われた。

6. 広報・ML 関係

劉委員より、welnet 63-6 に基づきメーリングリストの配信実績についての報告がなされた。

7. 研究会・施設見学会関係

庄司委員長より研究会・施設見学会について報告がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響で研究会・施設見学会は中止としたことが報告された。

8. 勉強会関係

鴫田委員より、welnet 63-8 に基づき若手の会勉強会についての報告がなされた。報告事項として、Web 勉強会の開催に向けて行われた第 1 回、第 2 回アンケート結果のまとめが紹介された。また、令和 2 年 7 月 17 日に行われた第 1 回 Web 勉強会についての開催報告がなされた。審議事項として、第 2 回 Web 勉強会の開催方法について、著作権や機密保護の観点からの懸念を紹介したうえで、溶接学会の著作物についての使用許諾申請の免除制度を利用した論文レビューや、若手同士の交流に主体を置いたイブニングセッションについて提案された。

使用するツールについて、溶接学会の各委員会に使用している Microsoft Teams は若手の会の活動では利用不可であることについて確認された。また、オンライン会議における著作権の利用について、基本的に各ジャーナルの規約に

従う必要があること、著作権上の引用と転載の定義が対面の学会発表等における通例とは若干異なるため注意が必要であることなどが確認された。

9. 出前講義関係

鴫田委員より、welnet 63-9 に基づき出前講義についての報告がなされた。コロナ禍の影響で出前講義の実施は見合わせており、次の開催予定は未定となっている。出席委員からは、講義を行う高校、高専を委員の出身校に限定せず、近隣地域での実施を検討してはどうかとの意見が寄せられ、鴫田委員から出前講義を打診可能な近隣の高校、高専に心当たりのある委員に情報提供の協力依頼が行われた。

10. グローバルネットワーク活動関係

荻野委員より、welnet 63-10 に基づきグローバルネットワーク活動の報告がなされた。オンラインにて開催された IIW2020 における TG-YL meeting の参加報告が行われた。IIW に関連する若手向けの国際会議についても情報提供があった。

コロナ禍の影響で GN 活動の根幹である国際交流が難しい状況となっており、実質的な活動をするのは難しい状況であることが確認された。YouTube や若手の会ウェブサイトを活用したオンラインでの GN 活動についても議論が行われた。

以上